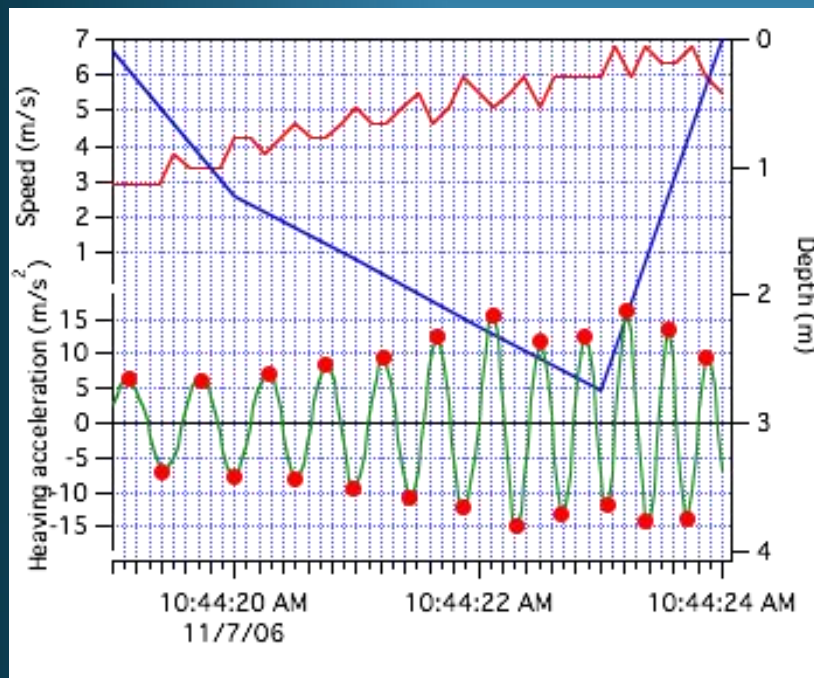
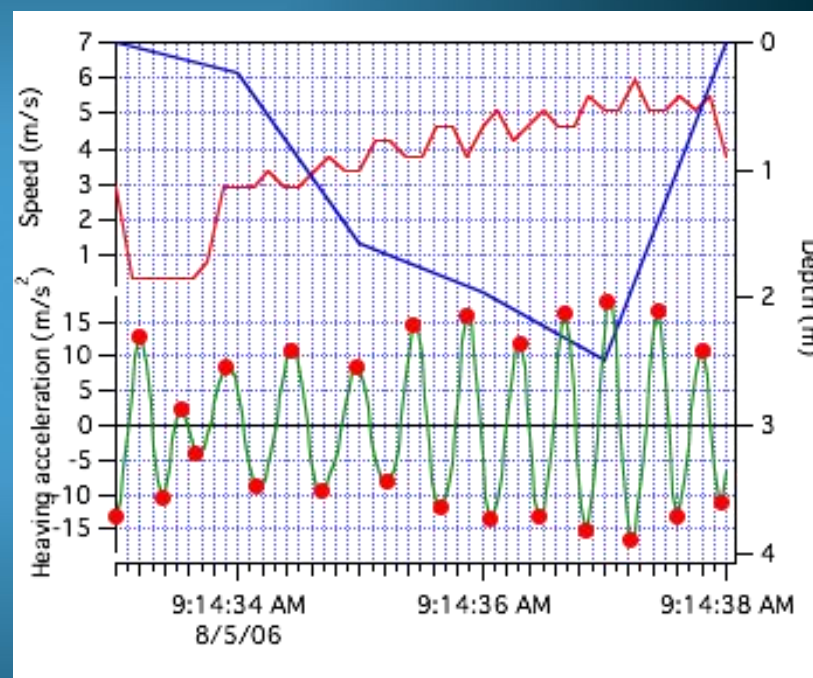


人工尾びれ装着時

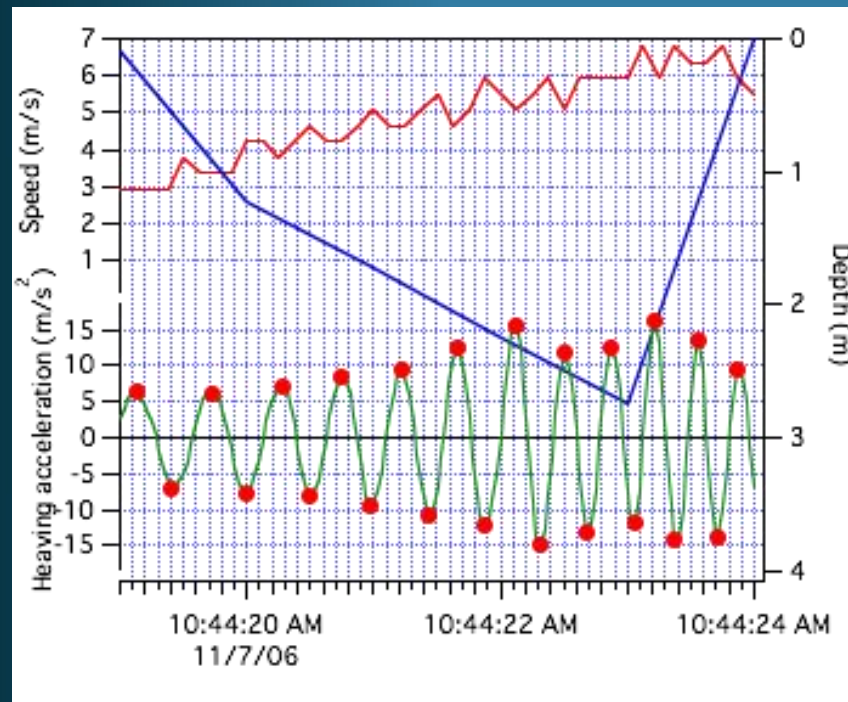


人工尾びれなし

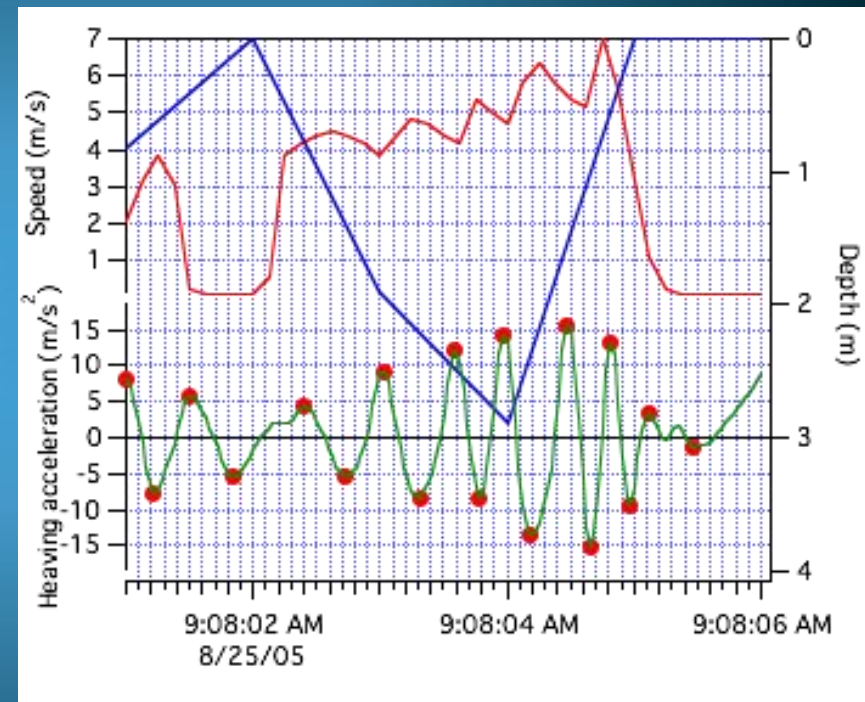


Average: 4.9, max: 6.8m/s, 2.3Hz Average: 3.7, max: 5.9m/s, 2.

人工尾びれ装着時

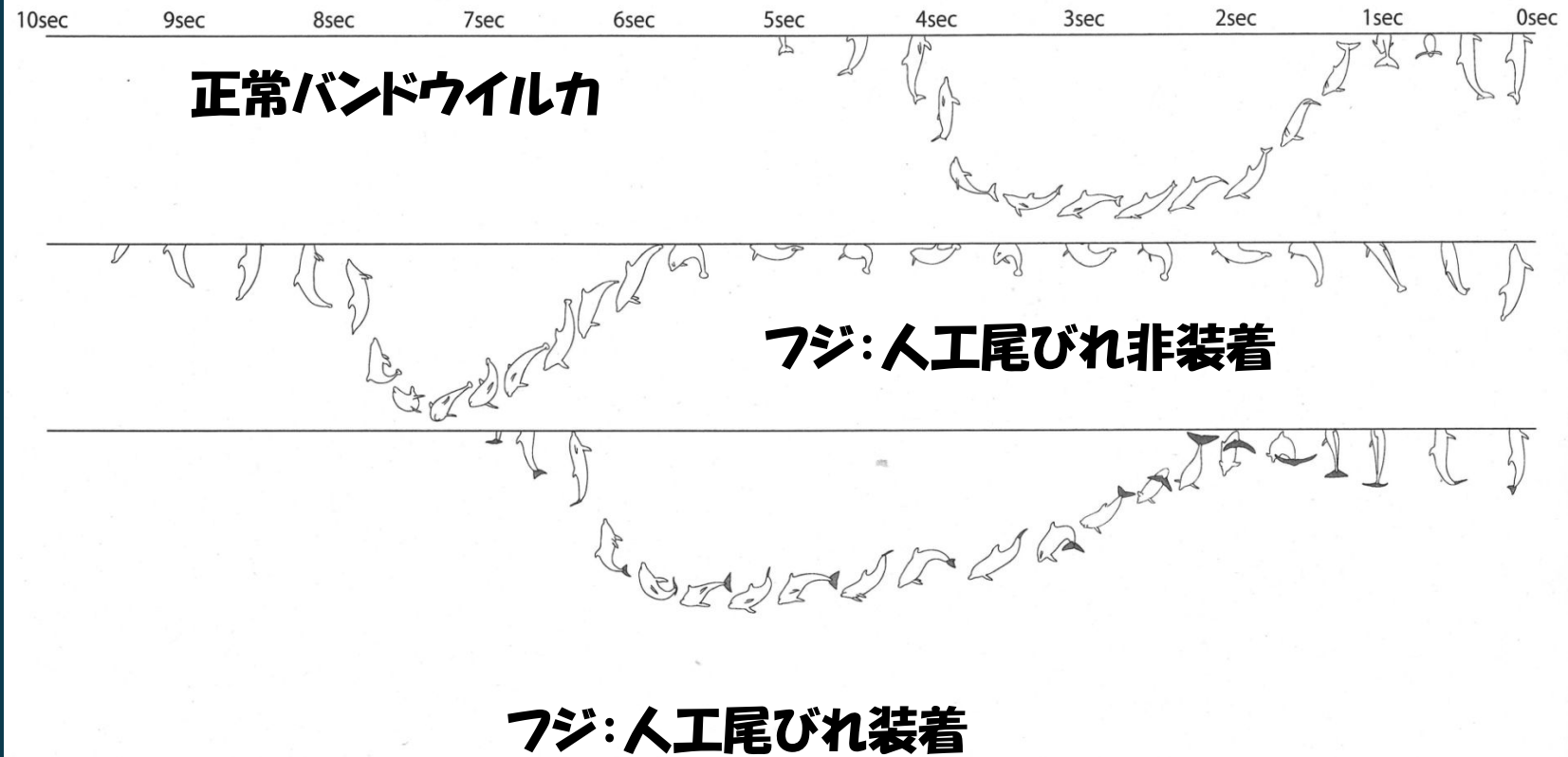


健常イルカ

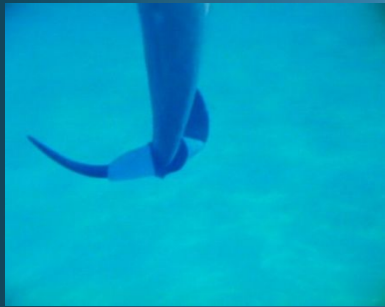
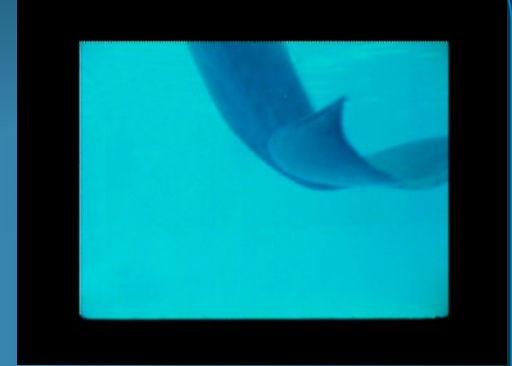
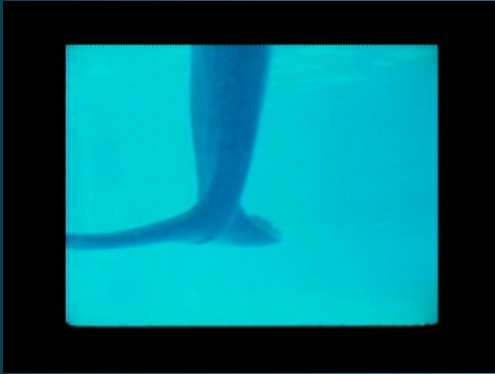


Average: 4.9, max: 6.8m/s, 2.3Hz Average: 4.5, max: 7.0m/s, 2.

HJ時の水中動作の比較イラスト



尾びれの比較

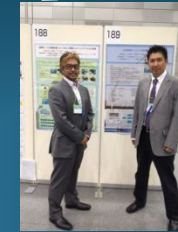






フジで実践した理学療法の経緯

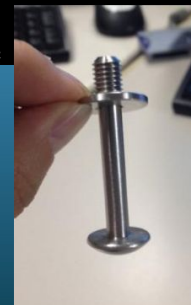
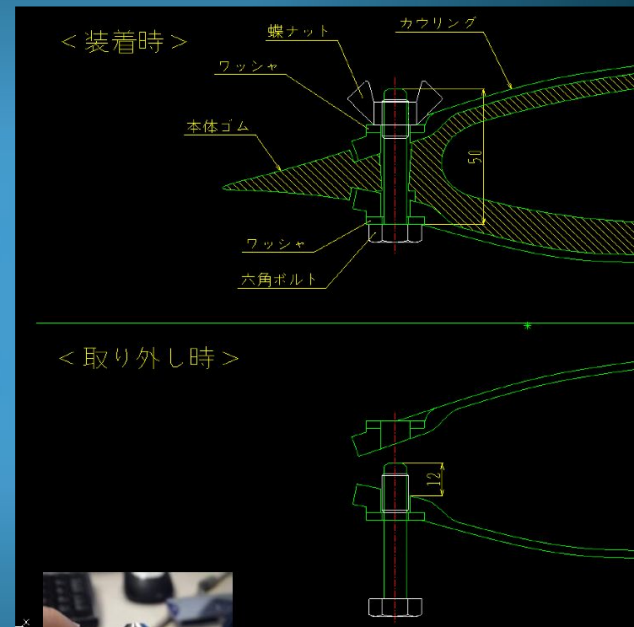
2013年神戸国際大学 村上教授と論文発表



	機能/形態障害	能力障害		社会的不利
評価	・尾鰭の75%を切除 ・体重の増加、血液検査値の悪化	・遊泳能力の低下 ・遊泳速度の低下 ・遊泳量の極端な低下		・単独行動の増加 ・イルカショーからの離脱
アプローチ	治療的アプローチ ・創部の早期断端整復、基本的遊泳動作の獲得	代謝的アプローチ ・遊泳意欲の喚起 ・遊泳補助具を用いての遊泳能力の回復		環境改善的アプローチ ・他個体との同居展示
具体的内容	尾鰭持ち ドルフィンキック 背泳 回転	ドルフィンキック 回転 背泳 輪運び ターゲットタッチ	ツイスト ボウジャンプ ハイジャンプ	ボウジャンプ ハイジャンプ イルカショー参加 人工尾鰭観察会への参加 人工尾鰭無のジャンプ動作
補助具	ウエットスーツ生地	初期型、クロスバンド型	カウリング型、カウリング型 オリンピックモデル	カウリング型 オリンピックモデル
訓練回数	15分×2回/day	15分×3回/day	20分×5回/day	20分×5回/day
訓練期間	147日間 (2003.5.1-2003.9.24) 術後175日目-術後321日目	261日間 (2003.9.25-2004.6.11) 術後322日目-術後582日目	190日間 (2004.6.12-2004.12.18) 術後583日目-術後772日目	655日間 (2004.12.19-2006.10.4) 術後773日目-術後1427日目

Ueda K, Murakami M, Kato J, Miyahara H, Izumisawa Y (2013). Intervention to improve the quality of life of a bottlenose dolphin that developed necrosis on the tail flukes. Journal of Physical Therapy Science 25:1201-1207.

将来イロカのための改良





2014年11月1日死亡

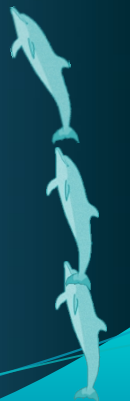
人工尾びれの課題



最後に……

フジ人工尾びれプロジェクトは、
VOC(Voice of Customer)を聞き、
CFT(Cross Functional Team)を活用し、
CDR(Company Social Responsibility)をした、
企業の理想のカタチである

ありがとうございました。



是非沖縄美ら海水族館と海洋博公園にお越し下さい